

令和6年3月15日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

# き ず な

す げん き みどり さと おお くさ の  
**住 み よ い 元 気 な 緑 の 郷 大 草 野**

**感謝の会**：子ども達がお世話になった方達への御礼が・・・(3月1日：金)

児童のみなさん、気持ちを込めて書いてくれたお手紙をありがとう！！

大草野小学校の行事のときは、前日までの雨模様の天気がウソのように晴れてしまいます。この学校の子も達は、「持っている！」んです。体育館の中は、天気が良くなったぶん朝の冷え込みで少し肌寒く感じましたが、穏やかな子ども達の顔色と同じように、暖かな雰囲気になっていました。



今日は小学校主催の、子ども達が日ごろお世話になっているみなさんを招待しての感謝の会です。招かれた人の代表で益世会の田中均会長が挨拶をされましたが、「私達こそ元気をもらっている。」と言われました。そのとおりです。それこそが大人たちの活動のエネルギーの源です。私も、研修センターに来てくれた子どもたちから、「嬉しいことは何ですか？」と尋ねら

れたときに、「皆さんが喜んでくれて、『ありがとう！』って言ってくれたときが一番嬉しい。」と答えました。

この会に出席した大人たちは、胸に込み上げてくる嬉しさがあったと思います。先生方、会を開いていただき本当に有り難うございました。大切な子ども達を地域で「共に育んで」行きましょう。

**卒業式を前に 学校前花壇の除草作業**（3月11日：日）環境整備部会

本日も見事に晴れました、子ども達ばかりでなくコミュニティも「持っている！」んです。朝方の冷え込みで真っ白に霜が降りていて、9時近くになっても日陰ではまだ白いところが残っていました。6年生たちの卒業式を前に少しでもキレイにしようということで、参加者9名で2



時間ちょっと、しっかり頑張って左の写真のような状況が右のように、植えた時のように見違えるようにキレイになりました。良い卒業式になりますように！



## 今年度最後の 校区内一斉清掃 (3月3日:日)

車のフロントガラスに霜が降りて、まだよく取れてしまわないうちに、遅れてはなるまい、と7時ちょっと前に出発です。それでも、7時開始の南下、万才、角ノ谷の各区ではレジ袋と火ばさみを持った人たちがたくさん出て、道端などに落ちたゴミを拾っています。

今朝はマイナスの気温となり、これまでの一斉清掃日の中では一番冷え込みました。8時頃になると、雪までチラチラ舞い降りる始末。そんな中に、多くの区民の方が参加いただいてこの行事が成り立っています。毎回思います、「心から有り難うございます！」と。撮影した写真を全部載せたいくらいですが、紙面の都合でそういうわけにも



お気付きでしょうか？バスのヘッドライトはまだ点灯していますよ！

いかず、限られてしまいますがなにとぞ皆様、ご容赦、ご勘弁ください。

今年の秋には「2024国スポ」が我が嬉野市でも開催されます。国スポ事務局からは、「市民総出で来訪者の方をお迎えできるようにしたいのでご協力をお願いします。」との依頼がコミュニティにもあっています。そこで、6年度は、またガードレールやカーブミラーの清掃なども行い、キレイにしてお客様を迎えたいと思っていますので、重ねてよろしく願いいたします。その他にも、花プランターの育成、手作りのぼ



り旗の制作などの依頼があっていますので、参加や協力が出来る方は、ぜひよろしく願いいたします。国スポに関する詳細は、時期が来ましたらお知らせいたします。

今後、自分が住む地域は、自らの手で美しくしていくという活動を続けていけたらと

思います。皆さんの更なるご協力を、心からお願いいたします。



五代区：公民館で仕分け作業中



万才区：県道沿いもキレイに！

へへ 編集後記 へへ  
「希望」って何でしょう？

大人は、「君たちは希望に満ちあふれている」と、子どもや若者に向かってよく話しますが、私は、ずっと「希望って何だろう？」って、思っていました。希望があるとか「希望がない」とか何を基準にしているのかがよく分かりませんでした。勉強もスポーツも、試験や試合にたくさん努力をして本番に臨んでも、いつも良い結果になるとは限りません。それなのになぜ「希望がある」というのでしょうか？

「希望がある」というのは「能力がある」や「夢がある」とは違うものだと思います。「可能性がある」というのは、よく似てはいるけどやっぱり少し違うと思います。

私の思う「希望がある」というのは、「自分のことをあきらめていない、見捨てていない」その姿、状態そのものを言うのではないかと思います。だから、失敗をしても何度も挑戦し、他人から何と言われようと自分の進みたい道のために必死になっている姿そのものが「希望がある」というのではないのでしょうか？

小学生にはまだ難しいでしょうが、中学生はたまにはこんなことを考えてみる時間があってもいいと思います。子ども達はたくさん試行錯誤してほしい。